9 350 9 514 May 1 1	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	定期文	化事業				事業開	始年度 平月	或17年度	
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	高	木奈保子		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				·			
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	02			ふれる市民文	化の継承			
	基本事	業 01	芸術文化活動	かの推進					
事業の目的	さくら	市民が芸術鑑	賞の機会を増やす	事により、	文化芸術への	理解の向上や	市民の事業参	ŧ	
争未の日的	画、文								
中米の揺曲	定期的	に文化芸術の	良さ素晴らしさか	「市民に伝	わるような文化	:振興事業を実	€施。幅広く質		
事業の概要			、市民への参加選	銭択肢を広∪	ずる 。				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実統	実績/当初予算 実績			実績		当初		
	i	総事業費	6, 321		2, 9	53	6, 9	48	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+5+	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	fe1	宗石 你	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	定期文化事業参	加多数	人	3, 793	3, 173	3, 000	3, 000	
1日1示り1日1岁	石刧	足别人 旧事未多	ли- П		0, 730	0, 170	3, 000	3, 000	
	評価	」 ●達成、		つ多少は達		成できず			
達成度の			り事業を実施し、	目標2,400.	人に対し3,173	人と目標を達	成することが゛	できた。	
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	<u>●数年内</u> Ⅰ	に見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 〇余	<u>₹地なし</u>		
■将来方向性【	71	Action)]							
事業の方向性	, 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1								
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小	ı	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

			評価)						
事務事業名	児童生	徒対象文化芸	術振興事業			事業開	始年度 平	成19年度	
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	高	木奈保子		
■事業の執行計									
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	02		芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承					
10 11 11 11	基本事	業 01	芸術文化活動						
+ 414 0 17 44			行えるようにする		学ぶ児童生徒σ)技術向上のき	うかけが提供	4 4	
事業の目的		れる。児童生徒の時期に芸術、文化への理解、興味が抱かれる。							
			調整を実施して、				『となる。小賞	2校	
事業の概要			分程度の芸術鑑賞				0. 00		
■事業実施結果			77112000	E 122 12-1	<u> </u>				
		年度	5年度		6年	度	7年度		
事業費の推移	実終	実績/当初予算 実績			実績				
7 51456 14 712 15		総事業費	499		79		当初 804		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標		<u> </u>	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	芸術鑑賞教室に	参加した児童・生徒	人	2, 323	2, 519	3, 554	3, 554	
担保の推修	八米	の数		^	2, 323	2, 519	3, 554	3, 554	
	評価		既ね達成した			成できず	•		
達成度の		市内小中等	校の児童生徒に	質の高い芸	術鑑賞機会を	提供すること	ができた。		
評価と説明	説明	∄							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし		
■将来方向性【	改善(Action)]	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算	算額 ○拡大			業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\	

			評価)							
事務事業名	野州田	植唄保存会補	前助事業			事業開	始年度 平	·成17年度		
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	高	田 裕亮			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>				
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	02	芸術・文化・	・歴史があ	ふれる市民文	化の継承				
	基本事	業 02	歴史的文化的	り資源の保	存・継承・利	活用				
+ W 0 17 4 4	市指定	の無形民俗文	化財の保護を継続				、保存される	るこ		
事業の目的	とを目的とする。									
			化財を保護すると	トともに団(本・後継者の資	育成を行うため	b. 補助金(st	≡間		
事業の概要			よる支援を行う。		1 212 1 47 1	1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(110-23 (1 1-3		
■事業実施結果			<u> </u>							
		年度	5年度		6年	 =度	7:	年度		
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績			· :績	当初			
ナルスの正り		総事業費	65			55	_	<u>当初</u> 0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標		·		5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
1141								#1 [
指標の推移	活動	活動日数		日	20	25	26			
	評価	〇達成、	既ね達成した	多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の	μιμ		K塾の「田植体験				宅イベント」	、「さくらま		
評価と説明	説明		R重り 出信作歌 日植唄を披露した) C () [4]	、				
	日本の									
見直し余地	判定					が必要 ●会	≷地なし			
<mark>見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし</mark> ■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		,	!状どおり継続	●廃止・ 2	完了					

事務事業調書(:評価)						
事務事業名	代々岩	戸神楽保存会	₹補助事業				始年度 平	成17年度	
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	高	田 裕亮		
■事業の執行計									
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	02			ふれる市民文				
	基本事				存・継承・利				
事業の目的		市指定の無形民俗文化財の保護を継続し、代々岩戸神楽を舞える市民が絶えず、保存される							
ず木の口口		目的とする。							
事業の概要			化財を保護すると	こともに団化	本・後継者の育	育成を行うため	り、補助金(st	丰間	
	69,	000円)に	<u>よる支援を行う。</u>						
■事業実施結果	【実施								
		年度	5年度			度		丰度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績	実績			븰	当初	
		総事業費	69		6	9		0	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	ホコリル	+ 12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	活動日数		l B	15	21	20		
1日1次~21年19	70 30	703703		Н	10	21	20		
					<u> </u>	. h . t . 18			
	評価		既ね達成した			成できず			
達成度の			∮ や瀧澤家住宅で	「市指定無	₹形民俗文化財	披露イベント	」、さくらま	:つりなどのイ	
評価と説明	説明								
			፟ 納の機会は無か						
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>) 余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ●糸	<u> 地なし</u>		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性				●廃止・					
<u> </u>	予算	₹額 ○拡大	:○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	\	

事務事業調書(:評価)						
事務事業名	文化則	保護事務				事業開	開始年度 平	成17年度	
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	高	田 裕亮		
■事業の執行計									
	政策	03	文化薫る心豊						
総合計画体系	施策	02			ふれる市民文				
	基本事				存・継承・利				
事業の目的		市指定文化財が適切な形で将来に向け保護管理されること。文化財保護法にある一般公開が							
サネッロリ			。市民が指定文化						
事業の概要			知、普及啓発、維	挂持管理及 7	び指導助言や署	事務。さくらず	5文化財保護署	客議	
		の指導助言を	<u>得る。</u>						
■事業実施結果	【実施								
		年度	5年度		6年			F.度	
事業費の推移	実紀	責/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	首初	
		総事業費 645 310 1,361							
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	111	宗'口'你	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	指定文化財数		件	215	215	215	215	
1日1示り71年19	八木	旧足人比别数		IT	210	210	210	210	
	評価		既ね達成した (成できず			
達成度の			る文化財の保護活						
評価と説明	説明		5により中断して	いたさくら	市指定文化財	の所蔵調査を	再開し、調査	件数が	
		残り20件と							
見直し余地	判定		こ見直し可能	●余地はあ	<u>るがまだ時間</u>	が必要 〇分	<u> 地なし</u>		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	١	

事務事業調書(評価)						
事務事業名			存・活用事業			事業開	始年度 平	成22年度	
担当課	教育委	養員会 ミュー	-ジアム		担当者	笹	沼 聖輝		
■事業の執行計	画【計								
	政策	03	文化薫る心豊	畳かな人材	の育成				
総合計画体系	施策 02 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承								
	基本事				存・継承・利				
事業の目的	継続し	て市の貴重な	歴史資料調査を実	薬施するこ 。	とで市の歴史を	と伝える貴重な	は歴史資料が制	対逸	
争未の日的			れ、これを市民が						
事業の概要	氏家町	史・喜連川町	史編さん事業で収	(集した歴)	史資料を整理係	保存する。			
争未の似安			を継続して実施し	、収集を	行う 。				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実網	績/当初予算	実績		実	績	当初		
		総事業費	10, 232		7, 024 7, 636			36	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	ti:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平四	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	保存された延べ	歷史資料数(歴史的	点	10, 633	10, 933	11, 235	11, 235	
	成果	今年度収蔵の歴		点	336	300	302	302	
	= <u></u>	▎ ▘▗▗ ▘ ▘ ▘ ▘	町ね、杏井14 (ノタ 小はき	ポリナ 	サスモギ			
法式曲の	評価			<u>)多少は達</u>		成できず			
達成度の	= 24 11		は歴史的行政文書			田中	エロナフしし	+ 1- 60.8C ±	
評価と説明	説明		うした歴史マンガ はくらまの無力を			、歴史教育に	活用するとと	もに一般販売	
日古し合地	和14		くら市の歴史を			は、沙田 ▲4	>+1h +> 1		
見直し余地	判定		こ見直し可能 (ノホ地はの	るかまに時间	」が必安 ●別	地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
	事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了 資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								
資源方向性	了!	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小	1	

事務事業調書(通常評	呼価事業 事後	(評価)							
事務事業名	旧役均	易庁舎移築復元	事業				始年度 昭	和22年度		
担当課	教育委	を員会 ミュー	-ジアム		担当者	高	田裕亮			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	畳かな人材	の育成					
総合計画体系	施策 02 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承									
	基本導	本事業								
古世の口む	文化則	すを復元し、将	来にわたってその)価値が損フ	なわれない状態	態で保存・公 員	見し、市民が 組	『 土		
事業の目的	の歴史	でを学習する。								
古米の畑市	さくら	市有形文化財	である旧氏家町役	と場庁舎とI	日熟田村役場戶	宇舎を解体し、	ミュージアム	文 民		
事業の概要	家広場	西側へ復元し	保存する。							
■事業実施結果										
		年度	5年度		6年	- 度	7年	F度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	<u>1</u>	首初		
		総事業費	0			0		0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6.		単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	担任	宗石	四甲	実績	実績	計画	計画		
お海の株牧	活動	第二四条担合	ぬ ちょし 纵は 英田弗	円/m ^²	٥	0	0	0		
指標の推移	泊勤	1後兀口仅场厅台	mがあたり維持管理費	H/ m	0	ľ	ľ	U		
	活動	復元旧役場庁舎	11 田 李 粉		0	0	0	0		
	泊勤	1後兀口仅场厅台	利用 有		U	ľ	ľ	U		
	評价	□ ○達成、	既ね達成した ()多少は達	成した ●遺	重成できず こうしょう	•			
達成度の		事業実施の	Dためには、利活	用計画の第	定が必要。					
評価と説明	説明	月								
見直し余地	判员	曾 ●数年内	に見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	●見頂			〇廃止・						
資源方向性	予:	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小	١		

	通常評		評価)						
事務事業名	市指定	文化財修理補	助事業			事業開	引始年度 📑	平成17年度	
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	高	田裕亮		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策 02 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承								
13 - 11 - 11 11	基本事	業 02			存・継承・利				
±**°°		世まで保存していく必要のある市指定文化財を、修理等により保存していくことを目的と							
事業の目的	する。								
—		文化財を保存	していく上で、修	を理が必要。	となった場合~	その補助対象総	¥費の1/2	以内	
事業の概要			として補助する						
■事業実施結果				<u> </u>					
		年度	5年度		6年	 F度	7年度 当初		
事業費の推移	実績	[/当初予算	実績			:績	でいくことを目的と		
	ŕ	総事業費	0		1, 5				
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+15.1	ボ ク 1 を	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打百 1	票名称	単位	実績	実績		計画	
比価の批ね		せいヘナ 平 はて	 	144	0	0	3		
指標の推移	成果	補助金を受けて	修理した件数	件	0	2		3	
	評価	●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇遺	を 成できず			
達成度の		令和6年度	は指定文化財所有	者より補	助金の申請が2	2件あった。			
評価と説明	説明		逢り屋台」の車輪						
	上阿久津上町白木地彫刻屋台の車輪4本の鉄の輪を締めなおし。								
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●分	≷地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	〇見直	し継続 〇明	現状どおり継続!	●廃止・5	完了				
資源方向性								小	

	通常評価		評価)					
事務事業名	瀧澤家	住宅保存事業				事業開	始年度 平	成25年度
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	長	鳴 博文	
■事業の執行計		画(Plan)】			·			
	政策	03	文化薫る心豊					
総合計画体系	施策	02	芸術・文化・	歴史があ	ふれる市民文	化の継承		
	基本事	業 02	歴史的文化的	勺資源の保	存・継承・利	活用		
古米の口が	適正な組	維持管理をし	ながら、施設の積	麺的な利 え	舌用を行ってし	ヽく。その中で	き、市民が積極	函的
事業の目的	に利用	し、また、さ	くら市の地域振興	具にもつなれ	がる文化財施設	とにしていく。		
中米の揺曲	県指定	県指定文化財瀧澤家住宅を保護や維持管理をしながら平成27年度に策定した利活用計画や平						
事業の概要			整備計画に従い、	修理や整備	構、利活用を行	īう。		
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度 5年度			6年	度	7年	達
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初	
	総事業費 8,43				5, 2	75	7, 860	
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	±5±	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	181	宗 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	丰位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	利用者数		人	4, 135	2, 521	2, 500	2, 500
1日1次071正1万	12.7	13713 🗆 🗫		^	4, 100	2, 021	2,000	2, 000
				<u> </u>				
	評価		既ね達成した (
達成度の			で活動する市民・				ことで多くの	来館者があ
評価と説明	説明	り、周辺の	D活性化や、文化	財としての	建物の周知に	つながった。		
			り破損した北門					
見直し余地	判定		こ見直し可能	●余地はあ	<u>るがまだ時間</u>	が必要 〇分	<u>₹地なし</u>	
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性	〇見直		状どおり継続	<u> ○廃止・</u>				
資源方向性	予算	.額 ■ 拡大	:〇現状 〇縮小	ı	業務量)現状 〇縮小	

事務事業調書(通常評	一個事業 事後	評価)							
事務事業名	歴史·	・文化を通じた	:地域づくり事業				始年度 平	成25年度		
担当課	教育委	桑員会 生涯学	智課		担当者	高	木奈保子			
■事業の執行計		·画(Plan)】				·				
	政策	03	文化薫る心豊							
総合計画体系	施策	02	芸術・文化・	歴史があ	ふれる市民文	化の継承				
	基本導				存・継承・利					
事業の目的			用とその周知。市	5民の文化!	財保護意識の高	系揚。若い世代	での文化財保護	意		
争未の日町		透と実施経験								
事業の概要	さくら	市の文化振興	や瀧澤家住宅なと	で文化財の	の活用や周知を	市民と連携し	ノて実施する。			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年					
事業費の推移		績/当初予算	実績		実			7年度 当初 3,661		
		総事業費	399		1, 6	34	3, 6	当初		
■前年度の事業		(評価 (Check)]							
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度				
	区分	101	W. D. J.J.	—	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動		じた地域づくり事業	人	4, 381	2, 776	2, 500	2, 500		
10 100 00 10 10	70.20	参加者数			1, 001	2, , , , 0	2, 000	2, 000		
	活動	講座・事業数		件	2	3	3	3		
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							<u> </u>		
\+ - \	評値		既ね達成した(成できず		## # 1. 18 - +		
達成度の			ナの伝統文化体験					教室などの実		
評価と説明	説明 施により、幅広い世代にさくら市の歴史と文化の発信を行うことができた。									
무숙되었다	Stat C	5 <u>0 % 左 去 /</u>	- D = 1 - T 44 - 4	入山北	7 18-1-19-11	LENT OF	\ 11h do 1			
見直し余地	判员		こ見直し可能	宗地はめ	るかまた時间	か必要の	<u> </u>			
	■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	ず!	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	ミュー	-ジアム施設約	持管理事業			事業開	始年度 平	成17年度		
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	高	田 裕亮			
■事業の執行計		画(Plan)】			·					
	政策	03	文化薫る心豊							
総合計画体系	施策	02	芸術・文化・	歴史があ	ふれる市民文	化の継承				
	基本事	本事業								
事業の目的	年間を	通じて正常な	運営(管理)を行	う。						
事業の概要	<u> </u>	ジアムー荒井	寛方記念館ーの適	切な維持領	管理					
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	F度		
事業費の推移	工業費の推移 実績/当初予算		実績		実績当初					
		総事業費	30, 466		41, 2	241	53,	当初 53, 399		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	未 11117	平四	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	延べ床面積 1 ㎡	当たりに要する費用	円	10, 531	17, 595	18, 483	18, 483		
	評価	」●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の 評価と説明	保守管理業務等をはじめ、計画通りの事業実施が行われ適正な運営ができた。 説明									
見直し余地	見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【	改善(Action)]								
事業の方向性				〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 C)現状 〇縮小			

			評価)					
事務事業名	特別・	企画展等開催	事業			事業開	始年度 平月	成26年度
担当課	教育委	員会 ミュー	-ジアム		担当者	大	木礼子	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊	とかな人材	の育成			
総合計画体系	施策 02 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承							
	基本事業 03 ミュージアムの充実							
市業の口め	博物館	物館資料の展示・公開を通じて、地域の歴史、民俗、自然等を学び、地域への理解・関						
事業の目的	心・愛	着を高めても	らう。					
古米の畑市			料観覧の機会を提	提供する。				
事業の概要	①企画	展の開催 ②	ギャラリー・トー	-ク ③作品	品解説会・講演	会		
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初	
	i	総事業費	9, 575		8, 0	51	9, 2	93
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+64		単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	担	宗石	甲亚	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	特別・企画展入	館	人	32, 303	23, 283	23, 000	23, 000
1日1末 リカー 正イタ	从木	刊州 正图成人	m-1 3X	^	32, 303	20, 200	20, 000	20, 000
	評価)多少は達		成できず		
達成度の			※120周年の記念の				り返る展示を行	行い、サテラ
評価と説明	説明	│	と設置し、市全体	での展覧、	周知が実現で	きた。		
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 〇余	∜地なし	
		Action)]						
事業の方向性			<u> 状どおり継続 </u>	〇廃止・				
資源方向性	予算	算額 ┃○拡大	:●現状 ○縮小		業務量	■ 拡大 C)現状 〇縮小	

事務事業調書(評価)								
事務事業名	博物館	官作品購入等事	業					成26年度			
担当課	教育委員会 ミュージアム				担当者	大	木礼子				
■事業の執行計	画【計画(Plan)】										
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊								
	施策	02				化の継承					
	基本事		ミュージアム								
争未の日的	郷土の歴史や美術など資料や作品を収集保存し、展示や調査研究の充実化を図る。郷土の歴										
	史や文化に対する市民の理解を深めるとともに、後世に伝える。										
事業の概要	郷土の歴史や美術に関わりの深い資料や作品を未来に残すために購入する。併せて収蔵資料										
		を拡充しながらこれらを企画展等により一般に公開する。									
■事業実施結果【実施(Do)】											
事業費の推移	年度		5年度		6年度		7年度				
	実紀	績/当初予算		実績		実績		当初			
	総事業費 5,300				23, 557		10, 160				
■前年度の事業		評価 (Check)									
指標の推移	指標				5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	181	未 11 117	単位	実績	実績	計画	計画			
	成果		、寄贈資料・作品収	点	29, 191	29, 592	29, 191	29, 191			
	7,70,71	蔵数		7.11	20, 101	20, 002	20, 101	20, 101			
				点							
	=T: /T				<u> </u>	<u> </u>					
\ 	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
達成度の	博物館活動に必要な、資料・作品の収蔵が行われた。美術作品4点の寄贈、4点の購入、1点										
評価と説明	説明 の寄託、歴史資料1点の寄贈、387点の寄託、民俗資料4点の移管があった。										
日古し合地											
<u>見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし</u>											
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了											
資源方向性 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小											

事務事業調書(評価)								
事務事業名	<i>ш</i> Н	・ジアム来館促	建事業			事業開	始年度 平月	成26年度			
担当課	教育委員会 ミュージアム				担当者	大	木礼子				
■事業の執行計	画【計画(Plan)】										
総合計画体系	政策										
	施策 02 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承										
	基本事業 03 ミュージアムの充実										
事業の目的	博物館の活動内容を多くの人に周知し、来館者の促進を図る。										
事業の概要	〇リーフレットの作成・配布 〇新たなミュージアムグッズの開発・販売 〇メディアの取材等及び事業の共催										
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年度		7年度				
事業費の推移	実績/当初予算 実				実績		当初				
	総事業費		5, 283		4, 072		4, 823				
■前年度の事業	分析【	評価(Check)									
指標の推移	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1 日1	宗口你	単位	実績	実績	計画	計画			
	成果	年間延べ来館者	数	人	32, 303	23, 283	23, 000	23, 000			
	成果										
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
達成度の	展覧会周知のため年間を通して来館者への展示のわかりやすい印刷物の配布、広報等に力を										
評価と説明	説明 入れた。オリジナルグッズ開発は親しみやすいものを作成した。										
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし										
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算額 ┃●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ┃●拡大 ○現状 ○縮小										